

いきいき マイタウン

まちで起こった出来事や気になるあの人を紹介します

雪景色を走る三岐線

いなベンチャー

仲間と一緒にチャレンジ！

12月13日（月）に、三里小学校の1、2年生の児童が課題解決プログラムを体験しました。これは、クラスの仲間と一緒にさまざまな課題に向き合い、自己肯定感の向上や思いやりの心を育てることを目的として、今年度から市内の小中学校で始まった体験学習です。（株）プロジェクトアドベンチャー日本の難波克己さんがファシリテーターとなって、市内の学校を順番にまわり実施。

難波さんは「仲間と一緒に取り組むと、思いやりと協力を体感で学べます。遊びの中でどの子どもも輝く時があり、共通の体験を振り返ると学びがある。勉強も遊びも同じなんです」と話しました。



1. ゲームのようなプログラムにみんなワクワク。「フラフープの中に逃げろ！」2. つながりを感じるプログラム「ヤートサークル」。みんなで円になってロープを持ち、ゆっくり重心を後ろに移動させる3. 相手とタイミングを合わせ、ゆっくり立ち上がる



米・食味分析鑑定コンクール国際大会

お米選手権で金賞



▲金賞の表彰状を持つ阿部さん

国内外の米の品質を評価する「第23回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」が11月27日（土）、28日（日）に静岡県で開かれ、三重県代表として出場したどじょう子らの阿部聡さん（藤原町長尾）が「都道府県代表お米選手権」部門で金賞を受賞しました。同大会は、米・食味鑑定士協会などが主催する国内最大のお米の品評会です。

阿部さんは、15年前から米作りを始め、現在は11品種の米のほかに大豆やソバなども生産しています。

「目標だった金賞を獲れて、うれしいです。有機肥料を使い、安心・安全・おいしいをモットーに米作りに取り組んできました。今後は、地域に還元していきたいです。地域活性化に力を入れていければ」と意気込んでいました。



1. たい肥の利用や深おこしと、土作りを大切にきた阿部さん。「収穫量を少なくして、その分、味に力を注いでいます」2. 倉庫には今までに受賞した表彰状の数々が

しなやかな演技で魅了

バトントワーリングで全国出場

11月26日（金）、「Baton Team Grace」の選手8人が、12月11日（土）、12日（日）に千葉県で開催されたバトントワーリング全国大会への出場を、市長に報告しました。

体育館などの練習場所が使用できなかった時期は、オンラインで演技を確認したり、河原など屋外の広い場所で練習したりと苦労も多かったそうです。選手それぞれが目標を持って全国大会に臨み、U-12部門で7位入賞を果たしました。



Baton Team Graceの選手たち

日々の積み重ねが功績に

書道と硬筆で全国最高賞

第45回全国学生書写書道展で米倉拓真さん（治田小4年）が、第37回全国硬筆コンクールで瀬木ゆずさん（桑名西高2年）が、それぞれ最高賞にあたる文部科学大臣賞を受賞しました。

11月29日（月）に市長へ報告に訪れた際に、瀬木さんは「小さいころから憧れていた賞なので、うれしかった」と話し、米倉さんは「本当に僕が選ばれたのかと驚いた」と話しました。市長からは「この才能をさらに伸ばしていただければ」と二人の功績を讃えました。

左から2人の指導にあたる鈴木さん、瀬木さん、米倉さん、市長



うんとこしょ、どっこいしょ！



大根とったよ

12月13日（月）に、大安町南金井の畑で、笠間保育園の園児85人が大根の収穫体験をしました。これは、南金井農家組合と（株）ふじた農産が協力して「地元の子どもたちに野菜収穫の体験を」と8年前から始めた取り組みです。南金井農家組合長の日沖博己さんは「子どもたちの喜ぶ姿が嬉しくて続いています」と話しました。

例年はキャベツを収穫していましたが、今年は大根を収穫。園児たちは、友達と協力して大きく育った大根を収穫しました。

1.2. 大きな大根にニコリ3.2人で力を合わせて「とれた〜」4. 大根を洗う機械を初めて見る園児たち。水しぶきが飛んで、思わず「冷たい！」5. 日沖さんから「大根はいろんな食べ方があるよ」

